

FOLFOXIRI ± Bev療法（2週毎）

| 医薬品名 | 投与量 | 投与時間 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|-----------|-----------------------|-------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|
| ペバシズマブ注 | 5mg/kg | 30分 ^{*1} | ↓ | | | | | | | | | | | | | |
| デキサメタゾン注 | 6.6mg | 30分 | ↓ | | | | | | | | | | | | | |
| パロノセトロン注 | 0.75mg | | | | | | | | | | | | | | | |
| イリノテカン注 | 165mg/m ² | 90分 | ↓ | | | | | | | | | | | | | |
| オキサリプラチン注 | 85mg/m ² | 2時間 ^{*2} | ↓ | | | | | | | | | | | | | |
| レポホリナート注 | 200mg/m ² | 2時間 ^{*2} | ↓ | | | | | | | | | | | | | |
| フルオロウラシル注 | 2400mg/m ² | 46時間 | ↓ | | | | | | | | | | | | | |

*1：初回90分、2回目60分、3回目以降30分へ短縮可能

*2：同時に投与

■副作用への対応

- 高血圧 ----- 血圧が上昇する可能性があるため家庭血圧を記録する。（ペバシズマブ）
- タンパク尿 ----- 定期的に尿検査を行う。（ペバシズマブ）
- 鼻血 ----- 強く鼻をかんだり触ったりしない。鼻血はほとんどの場合は軽度で、安静にしていれば止まる。（ペバシズマブ）
- 末梢神経障害 ----- 冷感刺激を避けること（特に点滴後5日間程度）。（オキサリプラチン）
- 便秘 ----- 点滴後1週間は便が出にくくなることがあるので、排便記録をつける。便秘薬が処方されている場合は使用する。
- 下痢 ----- 点滴後24時間以内に発現する下痢と、24時間以降に遅発性に発現する下痢がある。排便記録をつけ6回/日以上の水様便の場合は病院へ連絡する。
- 悪心嘔吐、食欲不振 ----- 食事が摂りづらい時は、食べられるもの、好きなものを少しずつでも食べる。水分を摂るようにする。
- 下痢 ----- 点滴後2週目以降に便が緩くなることもあるので、排便記録をつける。
- 口内炎 ----- 予防のために食後の歯磨き、頻回（8回/日以上）のうがいをする。
- 好中球減少 ----- 感染症予防のために、外出後だけでなく自宅で過ごす時も手洗い・うがいを頻回（8回/日以上）に行う。
- 脱毛 ----- 点滴後、早ければ2週間程度で髪の毛が抜け始める。帽子やウィッグを利用する。